



だれやめ^{きょうげん}狂言『大工の落書』^{らくがき}

製作レポート

1杯目



『大工の落書』の稽古が1月6日からスタートしました！

地域おこし協力隊×地元劇団のコラボ作品。他地域のどこにも例のない伊佐だけのオリジナル企画を生み出すための製作過程をレポートしていきます！

【配役】

伊佐の方々にとっては当たり前のことかも知れませんが、移住者のボクにとって人口2万5千人弱の町に劇団があるってビックリです。しかも20年以上も活動されています。さらに驚きなのは、上演してきた作品のほとんどが代表である島田佳代さんのオリジナル作品であること。これは相当エネルギーがないとできません。非常口は本気の劇団ですね。出演者はそんな非常口のみなさんです。配役はこちら！



西 和博さん

覇田助太郎役



石神 朋子さん

作次郎役



西元 麻子さん



中岡 美由喜さん

座主役 (Wキャスト)



本番の日程はまだ決まっていますが、劇をご覧いただくだけでなく「焼酎銘柄当て選手権」なども合わせた楽しい「番組」を考え中ですので、みなさまどうぞお楽しみに！

西上 寛樹 (地域おこし協力隊)

【狂言ってなに?】



『大工の落書』は、狂言の形式を拝借しています。でも狂言ってなかなか馴染みがないですね。そこで狂言についてざっくりご紹介します。

- ・歌舞伎よりも古い日本の伝統芸能
- ・世阿弥^{ぜあみ}で有名な能の仲間
- ・セリフ中心の喜劇
- ・庶民が主人公

そう。大工の落書は庶民の話ですから狂言と相性バッチリなんですね。

ちなみにテレビ番組という言葉は、元は能狂言の演目表を指す「番組」から来ているんですよ。

【狂言師による稽古】

狂言を教えられるのは狂言師だけです。というわけで和泉流狂言師 河野佑紀さんをお呼びして狂言の所作、セリフ回し、小舞^{こまい}4曲を教えてくださいました。2月中旬にまた稽古を見ていただく予定ですのでそこまでは自分たちで毎週稽古を重ねていきます。



和泉流狂言師
河野 佑紀さん





だれやめ狂言『大工の落書』

製作レポート

2 杯目

今回は配役や狂言について触れました。今回は『大工の落書』のストーリーを「序破急」に沿ってご紹介します！

※「序破急」は能狂言の用語で「起承転結」の類語



見どころ



ストーリー

じよ
序

永禄2年(1559年)、郡山八幡宮の改修工事に大満足の座主は、大工の助太郎・作次郎を労うも肝心の焼酎は出さない。だれやめを楽しみにしていた2人は、座主を持ち上げたり手を尽くすが座主は帰ってしまう。苛立ちから2人の間に喧嘩が勃発。取っ組み合いの末、柱貫の木鼻を外してしまう。



は
破

我に帰る2人。しかしどうしても焼酎が飲みたい。そこで2人は「あるつもりで飲もう」とエアースカッチを始める。これがこのほか良い酒となり、すっかり酔いの体。盛り上がった2人は外れた木鼻の裏に座主の悪口を書く。



きゆう
急

そこに座主が焼酎を持って登場。めでたい日に酒を出さなかったことを2人に謝る。困ったのは落書を抱えた2人の方で、なんとか座主に気付かれないように木鼻を元の場所に戻す。その後リアル酒盛りが始まり、3人はこの地の未来永劫の幸せを願い舞い踊るのであった。

酒盛り



狂言の酒盛りは扇を使った「見立て」で行われるのが普通ですが、本作ではエアースカッチをこの「見立て」で行い、最後のリアル酒盛りは本物の伊佐焼酎を用います。まさに「だれやめ狂言」！

こまい
小舞



狂言の酒盛りの肴といえば小舞。テレビもスマホもない時代は、これが娯楽だったんですね。なんと豊かな時代でしょう！本作では4曲の舞が出てきますが、その内の2曲は郡山八幡神社オリジナルの舞となります。



2月はオミクロン株の影響で狂言師の河野佑紀さんをお呼びすることも、全員揃っての稽古もできていませんが、個人稽古や言葉を発さない舞の稽古など工夫をして「そろりそろり」と前進していきますので、応援よろしく申し上げます！

西上 寛樹 (地域おこし協力隊)



◀こちらから大工の落書戯曲をお読みいただけます。



きょうげん だれやめ狂言 『大工の落書』

製作レポート

3 杯目



毎週稽古は進んでいます！ が、伊佐の方々の中には大工の落書についてご存じない方も意外と多いようです。身近すぎて知らないことってありますよね。そこで今回は郡山八幡神社の氏子総代会長の岡下臣廣さんと前会長の兵底透さんに大工の落書についていろいろ教えていただきました！

Q1、大工の落書って何ですか？

A、郡山八幡神社で発見された大工さんの落書のこと。1559年(室町時代)の改修時に書かれたもので、ここに書かれた「焼酎」の文字が日本最古の焼酎の文字となっています。



岡下さん(左端)の説明を聞く出演者たち

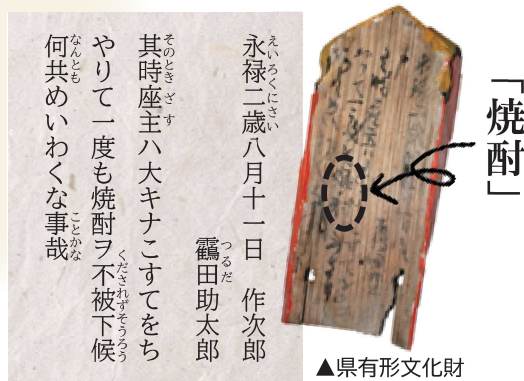
Q2、郡山八幡神社について教えてください！

A、所在地は大口大田 1549。現在の建物の基礎は1507年に島津出羽守忠明が再興したものです。



奥の本殿は国の重要文化財です

〈訳〉
永禄二歳八月十一日 作次郎
鶴田助太郎
その時の座主は、大のけちん坊であつて、一度も焼酎をふるまつてくださらなかつた。何と迷惑なことか



▲県有形文化財

Q3、落書はどこにあったんですか？

A、本殿の北東の柱貫の先端です。



昭和 29 年の改修時に発見されました

Q4、落書きの「焼酎」の文字は日本最古のものなんですか？

A、はい。焼酎に関する記述は左のとおりですが、大工の落書は国内で一番古いものです。

1548年：ポルトガルの貿易商シヨルジエ・アルヴァレスがフランシスコ・ザビエルに宛てた報告書の中でオラーカ(蒸留酒)について記述
1559年：大工の落書
1563年：公家の山科時継が「二盃有之、焼酎」と記述
1592年：肥後国誌に「佐賀の佐敷で薩摩兵が焼酎で暑さをまぎらわした」という記録

この日、私は体調を崩していた関係で取材は出演者のみなさんと非常口代表の島田佳代さんをお願いしました。肝心の狂言の方は、今月中旬に再び狂言師 河野佑紀さんをお迎えして稽古&牛尾校区で子どもたち対象のワークショップを開催します。15日には八幡神社氏子総代会のみなさまに通し稽古をご覧いただきます。本番の日程は、来月号でお知らせできそうです！

西上 寛樹 (地域おこし協力隊)





きょうげん だれやめ狂言 『大工の落書』 らくがき



5月は大きく前進した月となりました。
本番の日程も決まっていよいよ後半戦に突入です。

【河野佑紀さんの稽古】

5月14、15日と和泉流狂言師 河野佑紀さんを再び伊佐にお招きして稽古をつけていただきました。1月に習ったことの復習と新たな舞の振り付け。

～高熊山の庭(ミヤ)遊び～ 

なんともおめでたい伊佐オリジナルの狂言小舞の誕生です！



【配役変更】

鶴田助太郎役の西和博さんが多忙のため今年度は裏方に回っていただくことになりました。それに伴い以下の配役で本番に臨みます。

座主役 … 西元麻子(演劇集団非常口)

鶴田助太郎役 … 中岡美由喜(演劇集団非常口)
※女優名として旧姓を使用しています。

作次郎役 … 石神朋子(演劇集団非常口)



本番の日程が決定しました！8月11日です。これは山の日(祝日)であり、463年前に助太郎と作次郎が落書きをした日でもあります。場所は郡山八幡神社の境内。時間などの詳細は来月号でお知らせします。地元の方々が安心して楽しめるイベントをめざしていきますのでどうぞお楽しみに！！

西上 寛樹 (地域おこし協力隊)



【氏子総代会にお披露目】

15日は、高熊荘にて郡山八幡神社氏子総代会の皆様に通し稽古をご覧いただきました。出演者にとっては初めて



のお披露目。緊張でガチガチ!? と思いきや緊張の中からアドリブを生み出したたかき。さすが演劇集団非常口の女優陣！

【狂言ワークショップ】

14日は牛尾校区コミュニティで河野佑紀さんの狂言ワークショップを開催しました。すり足、名乗り、酒盛り。狂言の基本所作も子ども達にとっては遊びの延長。みんなで沢山笑って元気になりました。



だれやめ狂言 『大工の落書』

きょうげん

らくがき

製作レポート

5 杯目

本番まで残すところ1ヶ月ちょっと。いよいよラストスパートです！



【本番の時間】

本番は2回実施することにしました。

いずれも**8月11日(木・祝)**。場所は**郡山八幡神社境内**。時間によって観客対象が異なりますのでご注意ください。

※雨天時は牛尾小学校体育館で実施します。

🍵 1回目…朝9時開演

観客対象…郡山・木崎・高柳の3自治会と牛尾校区の皆さん

🍵 2回目…夜7時開演

観客対象…それ以外の皆さん
(基本伊佐市民の皆さん)

観客対象を分けたり、告知方法を限定しているのは、「まず地元の皆さんに愛される芸能であって欲しい」という願いからです。ご理解のほどよろしくお願いたします。

なお、**観劇料は無料**。予約制ではありませんので時間に余裕をもってお越しくださいませ。**上演時間は狂言30分+イベント30分の計1時間程度の「番組」を予定**しています。

【焼酎を飲みながら…は断念】

本作は「焼酎を飲みながら観られる芝居」をめざしておりましたが、郡山八幡神社が六月灯を中止したことを受け、今年は残念ですが飲食を伴わない形で実施いたします。

その代わりに、牛尾校区コミュニティ協議会と郡山八幡神社総代会の皆さんが「何か楽しい企画を！」と、8月7日～15日まで神社境内に灯籠を飾ってくださることになりました。そこで灯籠に貼り付ける「灯籠絵」を募集します！先着50名様作品をもれなく展示させていただきます！

対象：子どもから大人まで

提出物：半紙2枚分の灯籠絵（または文字）

締切：7月25日（必着）

提出先：牛尾校区コミュニティ協議会事務局
(大口温泉高熊荘) Tel 22-0989
伊佐市大口木ノ氏 1278-12



内容はアニメの絵でも風景画でも俳句でもなんでもOK！半紙（習字用紙）2枚分を描いてご提出お願いします。



稽古も佳境に差し掛かり俳優陣の顔つきと声が変わってきました。舞台美術は協力隊OBの木工作家 金山智則さんが絶賛製作中です！



▲稽古風景



▲舞台イメージ金山智則作

西上 寛樹（地域おこし協力隊）

だれやめ狂言 『大工の落書』

きょうげん

らくがき

製作レポート

6 杯目

レポートもついに6杯目。てげえ酔うたところでいよいよ本番です！



【概要】

日にち **8月11日**
(木・祝)



← ポスターも完成！

筆書は地域振興課の

岩下大志郎さん

時間 朝9時… 観客対象は、郡山・木崎・高柳・牛尾校区の皆さん
夜7時… 観客対象は、それ以外の伊佐市民の皆さん

上演時間… 30分+アフタートーク30分
場所… 郡山八幡神社の境内(駐車場70台)
※雨天時は牛尾小学校体育館で実施します。
(駐車場40台)

料金… 無料
予約… なし。当日直接お越しくださいませ
お問合せ… info@amano-jaku.com
(地域おこし協力隊 西上)

その他… 感染症対策を講じて開催する予定です。状況により開催内容を変更する際は、市HP等でお知らせします。

【出店とプレゼント情報】

会場では、伊佐で活躍する器作家さんの作品販売も行います。自宅でのだれやめをより豊かに彩ってくれる器たちをぜひご覧くださいませ。また、ご観劇いただきましたお客さまの中から抽選で10名様に「大工の落書」オリジナルラベルを貼った伊佐焼酎をプレゼントいたします！



(演劇集団非常口のメンバー 左から) 西元麻子さん、中岡(川村)美由喜さん、石神朋子さん。

出演者本番直前インタビュー

Q1、あなたの役について教えてください！

西元 焼酎を飲ませたくないケチな座主の役です。

中岡 怒りっぽくてお調子者な感じの大工、助太郎です。

石神 同じく大工で助太郎の弟分の作次郎。ただ大工の腕は助太郎よりも上です。

Q2、「劇のここを見て！」のポイントは？

西元 最初の座主の名乗り。そこでしっかり皆さんを狂言の世界に引き込めたいなと思っています。

中岡 短いので全部見てほしいです。(笑) その中で印象に残ったシーンがあれば嬉しいです。

石神 特殊な焼酎に酔くろて舞うたり座主の行動にあたふたしたり、永禄二年の悪ガキの仕草。

Q3、ズバリ今の心境を！

西元 楽しみも緊張も高まってきています。観客も演者もみんな楽しんでほしいです！

中岡 なかなか体験できない舞台なのでとても楽しみです。沢山の人が観ていただけたらと思います！

石神 早く観客の皆さまにお会いしたいなあ！



新型コロナウイルスの影響を鑑み、今年は「焼酎を飲みながら」の観劇こそ叶いませんが、「早く家に帰って焼酎が飲みたい！」とあっていただけるイベントをめざして参ります。みんなで楽しみましょう。はーはっはっはっは！

西上 寛樹 (地域おこし協力隊)